

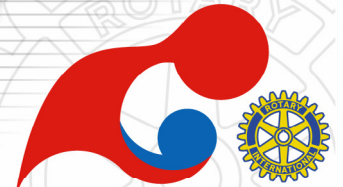


名古屋大須ロータリークラブ

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-OSU WEEKLY REPORT

<本年度クラブ会長方針>

No. 1003



夢をかたちに

Ever Onward ~いつも前を向いて~

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
 会長 小澤 幸男 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
 幹事 太田 裕 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
 URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

2008-2009年度 R.I. 会長

李 東建 Dong Kurn Lee

Rotary International President

第1174回例会

ロータリーを考える月間
 平成20年7月24日(木)
 於 名古屋東急ホテル
 出席計算数 会員 67名
 57名中45名出席
 出席率78・95%
 前々回出席率94・92%

「四つのテスト」

指揮者 鬼頭 茂成
 ピアノ伴奏 富板 玲子

「ゲスト」

派遣青少年交換学生

藤田有咲美さん

藤田悦津子さん

「ビジター」

名古屋名古屋RC 儀賀良公秀さん

山田 忠義さん



地区大会案内の為、実行委員のお二人が来てくださりました。
 地区大会:
 '08年 11/15(土)・16(日)
 ウェスティンナゴヤキャッスル

「ニコボックス」

地区大会よろしくお願ひします。

名古屋名古屋RC

暑いですが!

小澤 幸男・太田 裕

会長挨拶

会長 小澤 幸男

名東RC 儀賀さん、山田さん、地区大会ご苦労様です。堀江 英弥
 藤田有咲美が大変お世話になりました。吉田 隆彦
 暑中御見舞い申し上げます。照井 栄
 お世話になりました。岩崎 征一
 委員長所見よろしく。近藤宏一郎
 暑い毎日です。御体ご自愛下さい。尾上 昇

先週、毎日35度以上の猛暑日が続きますと挨拶しましたが、その後も一日だけ少し涼しいだけですと猛暑日が続いています。今日は36度の予想が出ています。熱中症にお気をつけ下さい。さて、先々週のアクスの帰国以来、今日挨拶していた藤田さん、昨日日力ナダに帰国したマイケル、昨日フィンランドから帰国された片野さんまで、昨年度の受入、派遣留学生の4名の皆様全員が、無事帰国されました。昨年度の国際奉仕委員会の皆様ご苦労様でした。

今後は8月19日にドイツからラウラさんが来られ、29日に岡村さんの息子さんが出発されます。時間等は国際奉仕委員会から追って連絡があります。時間の都合がつかましたら、出迎え見送りにおいでください。

委員長所見

親睦活動委員長 照井 栄

今年度の親睦活動委員会は男性4名女性3名、計7人で構成されています。「女性の視点からの親睦活動」という小澤会長の方針により3名の女性会員



が配属されました。会員同士が親睦を深める機会を有意義に過ごすという事は、結局ロータリー活動の活性化につながり、社会奉仕活動の時にも、その力が発揮されるのでは・・・と考えます。

今年は「楽しい・うれしい・美味しい・めずらしい」この4Cをテーマに進めて参ります。「ロータリーで・・・に行つたよ!」「ロータリーでこんなめずらしい経験をしたよ!」など話題性のある充実した親睦例会が目標です。

今年度最初の夜間例会は、10月4日に行われる創立25周年記念事業「新能」の打ち上げ懇親会として25周年記念実行委員会と協力し10月9日に行います。

年末の家族忘年会は12月18日に東急ホテルで行いますが、「ジャッキー吉川とニューブルコマツ」を予定しています。「ブルシャトー」のヒット曲でグループサウンズ時代の頂点に立ったブルコマの演奏に「あの頃の風景」を思い出していただけたらと思います。そのほかに親睦委員全員でいろいろ企画を考えております。

さあ!どんなプログラムでしょう?!!お楽しみに!!

委員長所見

広報委員長 杉本 英夫

広報委員会はCLPにより、一般広報、ブリテン、雑誌、CICCOの4つの部門から成ります。各部門それぞれ担当者を決め取り組んで行きます。一般広報は木村副委員長が中心です。

25周年記念事業のPRが重要な仕事になりますので、25周年記念実行委員会との連携、協力を計りながら進めて行きます。

ブリテンは、加藤さんに全員で協力します。又、事務局ともよく相談しながら、ウィークリーの内容の充実に取り組めます。又、例会等のカメフラ担当は、月単位で交代しながら、楽しい写真が提供できるようガンバリます。

雑誌は、北川さんが担当します。毎月の「ロータリーの友」の中から、大須クラブに係のある記事や、特に紹介したい記事等を抽出し、例会で発表します。又「ロータリーの友」への投稿に協力をお願いします。

委員長所見

会員組織委員長 近藤宏一郎



前年度クラブリーダーシッププランによる会員組織委員会を継承します。

一 会員増強
 8月は会員増強及び拡大月間にあわせ、21日の例会を友達を呼ぼう例会」とし、主に若い会員の皆様の友人を招待して頂き、通常例会におけるロータリー活動と内容を体験して頂き、入会をお勧めします。

今期は4名以上の純増を目標としますので御協力の程、お願いします。
二・ロータリー情報に関して

会員組織委員会、入会3年未満の会員、及び出席の少ない会員をお誘いして、懇親を兼ねた勉強会を開催し、親睦を図りながら新入会員入会後のフォローをし、退会防止にも努めたいと思います。

委員長所見

R財団・米山奨学委員長 浅井 隆宣

ロータリー財団委員会はR.I活動の根幹となる委員会と思えますが、前年度の柴岡委員長、横井副委員長のご指導によりまして、ロータリー財団では一人当たり最低100ドル(約10,000円)、大須RC全員で約70万円、米山委員会では全員合計約150万円の合計寄付額になります。この目標額を全員の皆様に分担してお願いすることが、最大の仕事のようにお聞きしました。でもこれはちよっと違つんじゃないかと思いました。



ロータリー財団には「地域レベル、全国レベル、国際レベルの人的、教育的、文化的交流プログラムを通じて、世界理解と平和の達成に努力すること」が、使命とされています。又、米山奨学委員会はロータリーでは唯一の日本独自のプログラムで、年間20億円弱を全国から集め、約8000人の海外からの留学生に年間150万円の資金援助をしています。

以上二つの委員会は世界に胸を張れ

る大切な事業をしていると云つことのご理解を頂き、その浄財が如何に有効に使われているかを皆様にお伝えしたいと思えます。

今年度はロータリー財団委員会は小林副委員長、米山奨学委員会は住田副委員長にご担当をいただき、浄財の寄付のお願いに上がります。宜しくご協力の程お願い申し上げます。

委員長所見

創立25周年記念事業実行委員長 吉田 隆彦

今年度、我が名古屋大須ロータリークラブは創立25周年に当たります。これを機に、地域社会の活性化と社会奉仕としてのRCの知名度の向上の為、地元大須観音にて、新能を企画、予定いたしております。



事業名は「名古屋大須ロータリー25周年記念 大須観音新能」であります。実施日は今年10月4日(土)夕刻で雨天の場合、翌日5日(日)に順延です。内容は名古屋能楽協会を窓口にて「羽衣」をメインに狂言「附子(ふす)」を加え、能面は20周年での「大須観音鬼の嫁取り物語」の「女面」を使用させていただきます。

会場は、大須観音本堂に向かい左西側)を使用し、観客動員はガバナリー下ご来賓と交換学生、米山奨学生等、ロータリー関係者、我がクラブのメンバー並びにご家族、そして地域の皆さんで、椅子席は約400席を、また、立ち席をも予定いたしております。

会員の皆様にはそれぞれ、具体的には会場での椅子のセッティングから、薪の管理、観客のご案内等、全員参加でご協力をお願いします。

会場の設営、出演者への対応等は前田副委員長が、ご来賓へのご案内、タイムスケジュール、会員の皆さんの当日の役割等は鬼頭副委員長をリーダーとしてお願いいたしております。皆さんの絶大なご協力なくしてはこの事業は成り立ちません。どうぞ、よろしくお願いします。

派遣青少年交換学生挨拶

藤田有咲美

人生経験 in CANADA
今から1年前、心細く緊張しながら涙とともに家族、友達とお別れをし、セントレア空港を出たのをまだ覚えています。それから早一年はとても充実した、なによりも私自身を成長させてくれました。

初めの3ヶ月。今まで自分の生きてきた場所とは全く違う環境で、時々ホームシックもありましたがなんと行ってモ学校ではダンスパーティーやハロウィーン。日本ではできないイベントがたくさんあり、この3ヶ月はとにかく全てが新鮮でした。オーロラを4回も見てカナダの行事は日本とは規模が違いワクワクさせられることが多数ありました。そして、クリスマスシーズン。私はカナダの本当の冬をついに体験しました。マイナス20度。これもなかなか寒かったのですが、ついにマイナス40度。その時、外に出てみると私の鼻が力チツと凍るのを実感しそれ以来、外出することが怖かった

えがあります。そして年明けを向かえ、数ヶ月、気づいた頃にはもうすぐそこにビッグ旅行と卒業式を前に、とにかく時間がとても早く過ぎていきました。英語のレベルも半年過ぎた頃からだんだん自分でも実感しながら成長し、人と不自由なく会話をするのも楽しくなっていきました。ホストファミリーは本当に愛があり本家の家族のようで、ホストシスターやブラザーとは冗談を言ったり、人の温かさに包まれていました。この1年はなんといいっても全てのことに対して成長し、自分に自信をつけることができました。先週の火曜日、セントレア空港に着いた時、夢の世界から現実に戻ってきたようで安心もありましたが、数日間はまだ実感がなく、自然に英語を話してしまつたりもして



いました。友達や家族には、まるまる太つてアンパンマンみたい、よくしゃべるようになったね、などと聞われています。こんなすばらしい人生経験をさせてもらつてロータリーの皆さまには本当に感謝しています。ありがとうございました。

8月7日(木)例会の案内

SPEAK OUT DAY

広報委員会
杉本 英夫・木村 光徳
加藤巳千彦・北川 晶邦
佐々木 功

派遣青少年交換学生帰国
派遣学生 藤田有咲美さんが、7月16日(水)カナダから帰国しました。



受入青少年交換学生帰国
7月22日(火)カナダからの受入学生のマイケル・ユルくんが帰国の途に着きました。/中部国際空港セントレア 14時05分発

